

北陸新幹線金沢・富山開業による 北陸経済への波及効果と課題

～北陸地域経済の新たな時代の幕開け～



平成27年11月13日
財務省東北財務局



北陸新幹線の波及

～北陸地域経済の新たな時代の幕開け～



北陸財務局

～平成27年3月14日北陸新幹線（東京-金沢間）が堂々開業。（※金沢-敦賀間は平成35年春開業予定）～

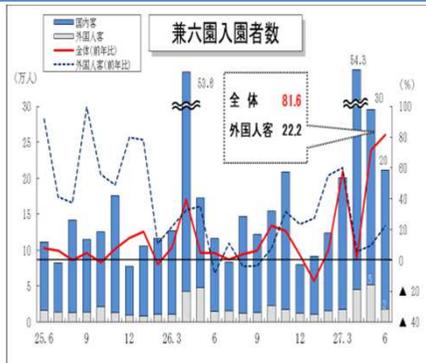
開業以降、管内への観光客が増加。能登地域や金沢以西等への地域的波及、ものづくりなど観光業以外の関連産業への波及もみられはじめています。今後の持続的な地域経済の好循環が期待される。

また、本社機能移転や企業進出、各自治体での「移住」・「定住」など地方創生への取り組みが加速化することにより、交流人口が増加し、地域経済活性化につながる地方創生のモデルケースとして期待される。

観光・消費への波及（生の声）

【石川県】 （金沢市周辺）

○兼六園の入込客数は開業以降順調に増加。3月単月では、前年比約1.6倍（7.4万人増）となる20万人が来訪。開業後初となる大型連休中の5月3日には、金沢城公園で、大型連休中としては過去最多の入込客となるなど賑わった。



(出所)：石川県金沢市・兼六園事務所
(注)：外国人客は無料入園者を除く。

○開業後2度目の週末は観光客を中心に客足が伸び、土産物等の売行きが良かったほか、飲食店も大勢の客で賑わった。(大型小売店)

（能登地域）

○輪島朝市では、県内外から観光客が増加。4月は定期観光バスの利用者が前年比約3倍となるなど、開業効果がみられる。

（加賀地域）

○開業後の週末はほぼ満室。予約の入りも早く、11月頃まで週末の予約は取りにくくなっている。(温泉旅館)

【富山県】

○3月の売上げは、前年比2割増。今後、山岳シーズンに入ることもあり、更なる来店客の増加が見込まれる。(商業施設)

【福井県】

○恐竜博物館では、石川県ナンバーのレンタカーが増加。大型連休中は、過去最多の入込みとなるなど、新幹線開業の効果を实感している。

関連産業への波及（生の声）

- 新幹線商品向けに納入実績があり、今後も土産需要の増加に伴う受注増加が期待できる。(業務用機械)
- 金沢、富山両駅店舗の関連グッズの売上げは前年比3倍以上。想定を上回る需要増加に十分な商品供給ができていない。(卸、小売業)



本社機能の一部移転、企業進出

- 産業集積、災害リスクの低さ、豊富な経営資源 + 新幹線開業効果
- 新幹線開業による**観光・消費拡大効果**

【本社機能（一部）移転】

株小松製作所（本社：東京都、東証一部上場）
石川県小松市に総合研修施設を整備し、本社教育機能を移転。

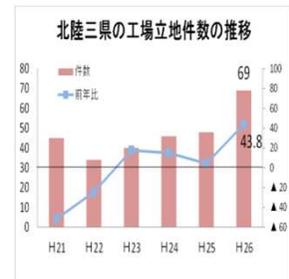
YKK株、YKKAP株（本社：東京都）
平成26年度末までに本社管理部門等の一部を富山県黒部工場に移転。

ほか 加賀東芝エレクトロニクス株、日本ゼオン株

【企業進出】

日機装株（本社：東京都、東証一部上場）
石川県白山市に新工場建設。平成27年3月までに静岡県の生産機能の大半が金沢製作所へ移転。

三井アウトレットパーク（三井不動産株）（本社：東京都、東証一部上場）
富山県小矢部市に北陸エリア初進出。平成27年7月開業予定。



(出所)：経済産業省「工場立地動向調査」

地価動向

～金沢駅周辺で地価が上昇～

○金沢駅金沢港口の商業地上昇率(+17.1%)は、**全国トップ**。

- ホテル等の建設が増加しているとの声や、住宅購入では、中古マンションが好調なほか、「駅近」を求める顧客が増えているとの声。



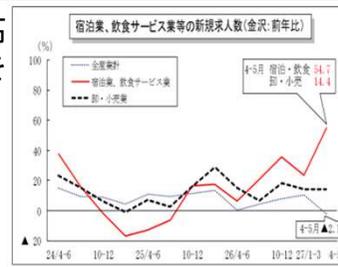
(出所)国土交通省「地価公示」(27.1.1時点)、各県「地価調査」
(注)各市の地価公示と地価調査の共通調査地点(商業地、住宅地)の平均地価を基に当局試算。

課題・懸念

～北陸管内の有効求人倍率は全国を上回る高水準で推移。なお、サービス業、販売業を中心に人手不足感がみられる～

【労働力の維持・確保】

観光・消費関連を中心に人手不足感の強まりを懸念する声。業界団体からは、人手不足が企業誘致の足かせになっているとの声も。**労働生産性の向上、女性の登用・活用、新卒者の人材確保、管外からの移住・定住促進**が課題。



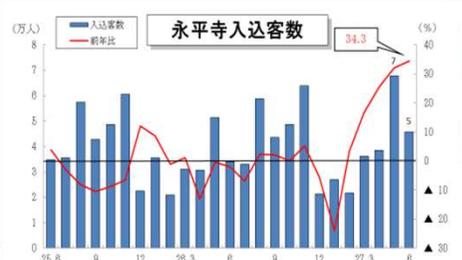
(石川県 加賀地域)

- 開業後の週末はほぼ満室。予約の入りも早く、11月頃まで週末の予約は取りにくくなっている。(温泉旅館)
- 3月の入込客数は前年比約5%増加。個人、団体ともに、平日の増加が目立つ。すでに10月まで予約が入っている。(観光地)

(福井県)

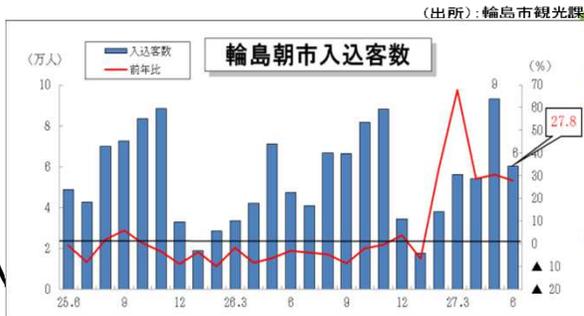
中日本高速道路(株)などによると、舞鶴若狭自動車道の全線開通(平成26年7月20日)から6か月間で嶺南地域の観光消費額が、約6.2億円増加。

- 問い合わせが増加。金沢で宿が確保できなかった団体等の予約が増えている。(ホテル)
- 全体の1割程度であった関東方面からの宿泊客が2割程度まで増加している。(温泉旅館)
- 個人、団体とも増加。3月以降、観光バスの増加が顕著であり、1~3月は前年比140台増。(観光地)



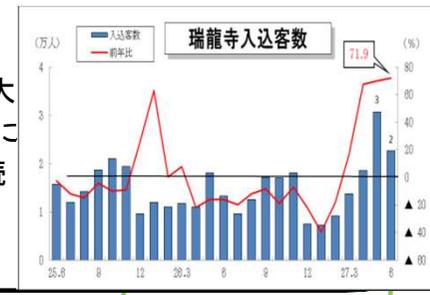
(石川県 能登地域)

- 関東方面からの宿泊客が前年比約2倍に増加しているほか、関西方面からも約2割増加している。(温泉地)
- 輪島朝市では、県内外から観光客が増加。4月の定期観光バスの利用者は前年比約3倍となるなど、開業効果がみられる。



(富山県)

- 開業後は週末を中心に、昨年より満室となっている日が多く、手応えを感じている。(ホテル)
- 関東方面に加え、北陸が全国的に注目されており、関西方面からの宿泊客も増加している。(温泉地)
- 大型連休中の入込みは前年比2割近く増加。長野県からの団体ツアーバスが目立って増加している。(観光施設)
- 瑞龍寺の入込客数は、個人客が大幅に増加し、3月に続いて2か月連続で前年比2桁増となっている。



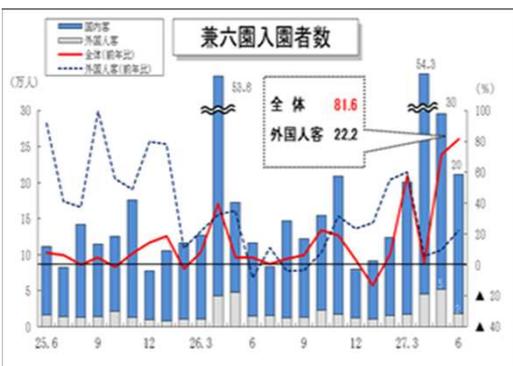
観光・消費への波及 (生の声)

(参考) 経済効果

	石川県	富山県
日本政策投資銀行	124億円	88億円
増加訪問者数	32.0万人	21.2万人
観光	18.2万人	10.6万人
ビジネス	13.8万人	10.6万人
北陸経済研究所	182億円	118億円
増加訪問者数	35.2万人	24.0万人
長岡大学 鯉江教授	2.4%	0.3%
域内総生産	7.4~7.7%	4.5~4.7%
鉄道建設・運輸施設整備支援機構	1,023億円	

注1: 石川、富山各県に及ぼす効果等
 注2: 長岡大学の試算は、北陸新幹線の有無で比較した場合の影響率。
 注3: 開業10年目(平成36年度)における、北陸新幹線の有無で比較した場合の国内総生産の差額。
 (出所: 日本政策投資銀行、北陸経済研究所、長岡大学、鉄道建設・運輸施設整備支援機構)

(石川県 金沢市周辺)



(注): 外国人客は無料入園者を除く。

- 4月、5月の宿泊客は前年比20%増加。学会需要、法人需要が増加している。(ホテル)
- 兼六園の入込客数は開業以降順調に増加。3月単月では、前年比約1.6倍(7.4万人増)となる20万人が来訪。開業後初となる大型連休中の5月3日には、金沢城公園で、大型連休中としては過去最多の入込客となるなど賑わった。(観光地)
- 開業後2度目の週末は観光客を中心に客足が伸び、土産物等の売行きが良かったほか、飲食店も大勢の客で賑わった。(大型小売店)
- 観光地周辺店舗の売上高は前年比10~20%増加。(コンビニ)
- 開業後2度目の週末も多くの利用者で、ここ数十年みられなかった賑わい。4月に入っても好調で、平日の利用者も多く、回転率も上昇している。(タクシー)
- 関東、長野方面の貸切バスの予約が増加しており、売上げは前年比10~20%増加している。(陸運)
- 開業以降、業況は好調。一部の店舗では5月は月間最高売上げを記録するなど、大盛況となっているほか、観光客の増加で客単価も上昇している。(飲食店)

(参考)

管外の状況

(関東財務局提供)

- 3月以降、北陸方面は爆発的に伸びており、今後も増加する見通し。(旅行会社)

受け地としての魅力向上（旅館・ホテルなど宿泊施設の状況）

《温泉旅館の状況》

改装や従業員増強など、増加が見込まれる首都圏等からの宿泊客に対応。



■改装の状況

- 平成26年度県及び市の補助金を活用した改装
平成26年度に石川県及び県内市町では一定の条件を満たす旅館の改装費用を補助する「温泉地魅力アップ支援事業」を実施。平成26年2月以降、当該制度を利用した旅館の改装が相次いだ。

- 和倉温泉「加賀屋」：食事場所を新設。部屋以外の場所で食事をしたいという要望に対応。投資額は1億円。また、4億円を投じて高級宿泊棟の客室改装に着手。ベッドの導入や室内のテーブルやイスを新調。
- 山代温泉「葉渡莉」：女性や高齢者に人気があるテーブル席の食事処を新設。
「界加賀」：客室を2倍の48室に増設。平成27年中にリニューアルオープン予定。
- 粟津温泉「のとや」：三世代旅行を想定し、子連れ向けの部屋を1室増設。部屋食以外を希望する個人客向けに食事処を拡張。

■従業員の状況

- 山代温泉や和倉温泉の旅館では、新規採用者を倍増させるなど従業員を増強し、増加が見込まれる観光客への「おもてなし力」向上に取り組んでいる。
よろづや観光（山代温泉）：平成27年春の新卒採用は前年の5人から9人に増加。来春は20人を採用予定。
加賀屋（和倉温泉）：平成27年春は過去最多の新卒76人を採用。来春は40人を採用予定。

（出所）：各種報道等

北陸地域の主要温泉地

- 【石川県】：加賀地域・・・山代、山中、片山津、粟津
金沢地域・・・湯涌
能登地域・・・和倉、輪島
- 【富山県】：宇奈月温泉
- 【福井県】：芦原温泉

平成26年度石川県温泉地魅力アップ支援事業

- 目的：県の観光の基幹をなす温泉地の活性化及び魅力向上のための施設整備に対する助成。
- 対象：各温泉旅館組合に加盟している温泉旅館。
- 補助対象事業：温泉地の景観に配慮した外観整備や利用者の利便向上のための内装改修などの工事。

《ホテルの状況》

新設や改装、営業力強化等を目的とした経営主体の変更などが相次ぐ。

■新設の状況

- 「金沢彩の庭ホテル」が平成27年3月開業。建設関連会社の㈱高田産業（金沢市）がホテル事業に参入。
- 「ABホテル金沢」が平成27年4月営業開始。金沢駅金沢港口に新設された複合商業ビルの3～9階で、㈱東祥（愛知県）が運営。
- 「ビジネスホテルユニゾイン金沢（仮称）」が平成29年度冬開業予定。金沢市尾山町の旧北國銀行本店第二本館跡地に、常和ホールディングス㈱（東京都）が開業予定。
- ㈱東横イン（東京都）が新高岡駅南口に「東横INN新高岡駅前（仮称）」を平成29年4月開業予定。

■改装等の状況

- 「ANAクラウンプラザホテル金沢」は、平成25年9月、大宴会場を全面改装。平成27年3月1日最上階にバーを復活。
- 「ホテル日航金沢」は、最上階30階のダイニングを刷新。
- 「金沢国際ホテル」は、開業以来初の客室改装を実施。

- 「金沢エクセルホテル東急」は、平成26年10月、価格や装備がワンランク上の「金沢東急ホテル」にブランド替え。高層階を高級フロアとし上級の設備を備える部屋を設置。
- 「金沢白鳥路ホテル」は、平成27年4月、ホテル名を「金沢白鳥路ホテル山楽」に変更。高級ホテルブランドに格上げ。
- 「金沢ニューグランドホテル」は、平成27年1月に全100室の改装が完了。
- 「ANAクラウンプラザホテル富山」は、平成26年2月、中宴会場を全面改装。婚礼部門の強化に加え新幹線開業後には会議、学会などの誘致に繋げる。

■経営主体の変更

- 「金沢スカイホテル」は、集客力向上を目指し、運営をIHG・ANA（東京都）に委託。平成26年3月から「ANAホリデイイン金沢スカイ」としてリブランドオープン。
- 「宇奈月ニューオータニホテル」は、平成26年6月、オリックス不動産（東京都）に事業譲渡。平成27年3月14日付で「宇奈月杉乃井ホテル」に名称変更。
- ホテルチェーン呉竹荘グループ（浜松市）は、平成26年7月「金沢国際ホテル」を買収。ホテル名は変更せず事業継続。

（出所）：各種報道等

関連産業への波及（生の声）



【飲食料品製造】

- ▶ 弁当販売が好調であるほか、全国で北陸フェア等の催事が増えていることから、受注が増加。3月の売上げは前年比大幅増を見込む。（食品製造）
- ▶ 北陸産の需要が高まっているため、干物の製造が追いついていないとの声が聞かれる。（業界団体）
- ▶ 売上高は前年比2倍以上で特需の状態。県内外から注文が相次いでおり、人気商品の出荷本数はこれまでの10倍以上。（酒造メーカー）

【機械関連等】

- ▶ 新幹線のメンテナンス関連機器の受注が増加。フル生産が続いており、今後も需要増加が見込まれる。（電気機械器具）
- ▶ 宿泊施設で需要が増加しており、生産が追いついていない。（台車製造）
- ▶ 新幹線商品向けに納入実績があり、今後も土産需要の増加に伴う受注増加が期待できる。（業務用機械）
- ▶ 回転すし店等から割箸の受注が大幅に増加。特に石川県内からの受注は前年比30%程度増加。（割箸製造）

【サービス関連】

- ▶ 5月の大型連休は観光客が増加し、特に駅前の店舗では利用者が前年比3倍。（レンタカー）
- ▶ 新幹線開業に伴い営業を強化するため、商用車の増車や買い替え需要が増加。（自動車販売）
- ▶ 北陸に転勤で来た消費者の分譲住宅購入が増えてきている。（住宅建設）
- ▶ 飲食店を中心に広告需要が大幅に増加。3月の広告収入は過去最高となる見込み。（情報誌出版社）
- ▶ ホテル等宿泊施設の稼働率上昇に伴い、売上げは前年比10%程度増加。（リネンサービス）

【土産物、関連グッズ製造、販売】

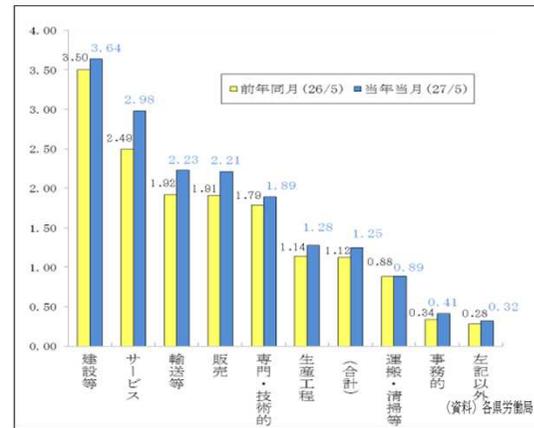
- ▶ 5月の大型連休中は過去最高の売上げを記録。観光客に加え、帰省客も多く、地物の海産物等の売行きが良かった。（土産物販売）
- ▶ 金沢、富山両駅店舗の関連グッズの売上げは前年比3倍以上。想定を上回る需要増加に十分な商品供給ができていない。（卸、小売業）

人手、客室不足（生の声）

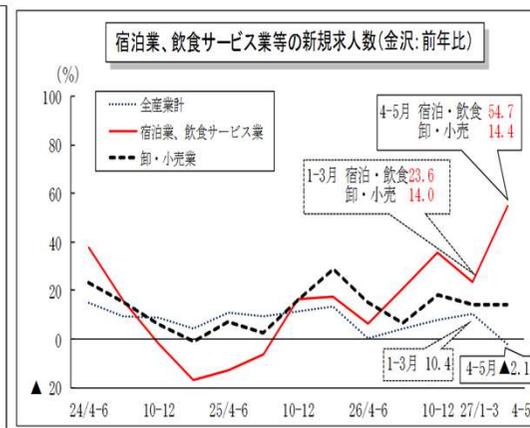
平成27年度に石川、富山両県で開催される主な全国大会

石川県				富山県			
	大会名	最大参加者数(人)	エリア		大会名	最大参加者数(人)	エリア
5月	MEX金沢2015	50,000	金沢市	6月	日本臨床救急医学会	2,000	富山市
	第66回全国植樹祭いしかわ2015	10,000	小松市		日本東洋医学会	2,470	富山市
8月	自治労定期大会	20,000	金沢市	10月	全国民生委員児童委員大会	3,500	富山市
10月	日本酒で乾杯推進会議(サケマルシェ)	20,000	金沢市	10月	日本整形外科学会基礎学術集会	2,010	富山市
11月	JCI世界会議金沢大会	10,000	金沢市	11月	全国豊かな海づくり大会	1,800	射水市
	金沢マラソン	10,000	金沢市	11月	ファザリング全国フォーラム	2,000	富山市

- コンベンションが集中する春、秋は既にほぼ満室。常連客の受け入れが困難。（ホテル）
- 仲居不足を派遣社員で対応。それでも不足しており、繁忙期は空室があっても予約を断っている。（温泉地）
- 車輛、運転手の不足により断らざるを得ない予約もある。運転手の募集は行っているが、業界全体で需要が高まっており難しい。（陸運）
- 募集をかけても集まりにくく、採用してもすぐにより条件の良い仕事へ流れてしまう。賃金を引き上げて対応しているため、人件費も増加。（商業施設）
- 時給を引き上げたが、応募・採用は増えない。大型商業施設の開業も控えているなどさらに人手不足が深刻化し、出店計画への影響を懸念している。（ドラッグストア）
- 若者の首都圏流出により、地方では優秀な人材の確保がさらに難しくなる。（電気機械器具）
- 企業誘致を進めているが、人手の確保が難しいため、労働集約型の業種を中心に進出に難色を示すケースがある。（業界団体）



(注1) 北陸は、当期において石川県、富山県、福井県の有効求職者数、有効求職機会数（パート含む常用、原数値）を合算して試算したもの。
(注2) 構成する福井県の「生産工程」のうち一部職種は含まれていない。



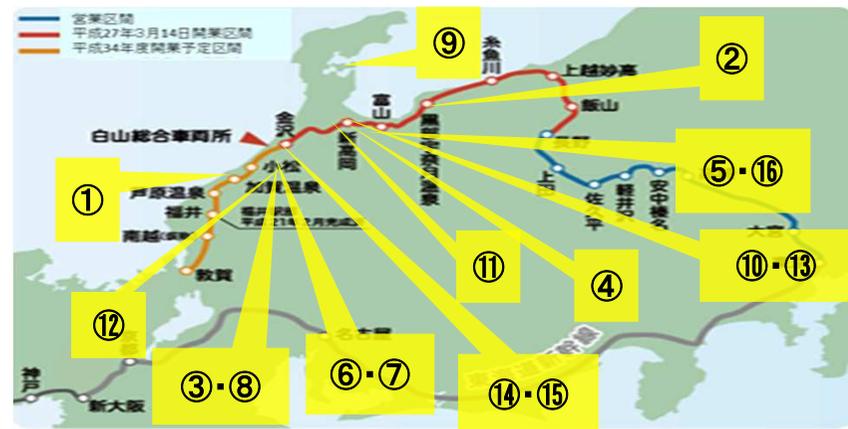
(資料) 金沢公共職業安定所
(注) 金沢公共職業安定所管内で、パートタイムを含む。

主な本社機能移転、企業進出等（県外資本）

ものづくりの産業集積、災害リスクの低さ、豊富な経営資源（労働力、土地、エネルギー（電力、水資源））の3つの強みに新幹線開業による首都圏へのアクセス向上という要素が加わることで、三大都市圏の中間地点という立地もあって企業進出が加速。

開業による観光・消費拡大効果を見据えた進出も。

北陸3県の平成26年通期の工場立地件数は前年比約1.4倍の69件（※平成25年48件）。



産業集積、災害リスクの低さ、豊富な経営資源 + 新幹線開業効果

【本社機能（一部）移転】

株小松製作所①（本社：東京都、東証一部上場）
平成23年に石川県小松市に総合研修施設を整備し、本社教育機能を移転。

YKK(株)、YKKAP(株)②（本社：東京都）
平成26年度末までに本社管理部門等の一部を富山県黒部工場に移転し、約230人が異動。

加賀東芝エレクトロニクス(株)③（本社：石川県能美市）
株東芝の研究開発部門を石川県能美市に集約。平成27年9月完成予定で、新技術棟を建設（約10億円）。約200人を増員し、平成26年度から3年計画で約300億円を投じて研究開発から量産まで一貫体制を強化。

【研究開発機能移転】

YKK(株)、YKKAP(株)②（本社：東京都）
平成28年4月、富山県黒部市に技術の集積地として、「YKKAP R&Dセンター」開設予定（約35億円）。約370人の異動（中央研究所、商品開発部等）を予定。

日本ゼオン(株)④（本社：東京都、東証一部上場）
平成17年から平成26年にかけて、「光学フィルム」等の研究開発機能を富山県高岡工場に集約。

【企業進出】

➤ **化学工業**
ユースキン製薬(株)⑤（本社：神奈川県）
平成27年7月富山県富山市の新工場（約18億円）で生産・出荷がスタート。平成28年3月には全面的に移転予定。

➤ **機械関連**
日機装(株)⑥（本社：東京都、東証一部上場）
医療機器・航空機部品メーカー。平成26年6月石川県白山市に新工場建設（約22億円）。平成27年3月までに静岡県の生産機能の大半が金沢製作所に移転。

株ジャパンディスプレイ⑦（本社：東京都、東証一部上場）
石川県白山市でスマートフォン向け液晶パネル用の新工場を建設（約1,700億円）。平成28年5月稼働予定。

日本ガイシ(株)⑧（本社：愛知県、東証一部上場）
石川県能美市に新工場を建設（約83億円）。平成29年4月稼働予定で、新工場従業員約100人のうち、石川県内から80人を雇用予定。

➤ **農業**
株ミスズライフ⑨（本社：長野県）
ブナシメジ栽培。石川県穴水町に新工場建設（約10億円）。平成26年8月完成で約20人を地元雇用。

➤ **サービス**
プレステージ・インターナショナル⑩（本社：東京都、東証一部上場）
コールセンターを射水市に新設。平成27年4月操業開始。5年で約1,500人体制とする計画で投資額約30億円。

新幹線開業による観光・消費拡大効果

➤ **大型ショッピングセンター**
三井アウトレットパーク⑪
（本社：東京都、東証一部上場）
富山県小矢部市に北陸エリア初進出。約160店のテナントで平成27年7月開業予定。雇用創出は2,000人。

コストコ⑫⑬（本社：神奈川県）
石川県野々市市に平成27年8月開業予定。北陸初出店。富山県射水市にも同日開業予定。地元雇用はそれぞれ300~400人を予定。

➤ **その他**
楽天(株)⑭（本社：東京都、東証一部上場）
平成27年3月北陸エリア初の金沢支社を開業。新幹線開業を見据え、北陸エリアでの営業を強化。

大和ハウス工業(株)⑮
（本社：大阪府、東証一部上場）
平成27年4月に金沢支店を日本海側初の支社に昇格。住宅、マンション需要の取り込みを強化。

株ホテル東日本⑯（本社：岩手県）
平成26年8月富山県富山市に「ホテル森の風立山」を開業。平成27年4月には高級志向の和風宿泊棟を開業。

主な地元企業の新たな事業展開① ～異業種参入、工場新・増設等～

製造業を中心に設備投資が増加。**新幹線開業は事業拡大の好機**とみて、管内企業の設備投資意欲は強い。
また、法人企業景気予測調査の「利益配分のスタンス」をみると、**機械関連や運輸、郵便、宿泊、飲食サービス等**で「設備投資」と回答する企業が増加。

【石川県】

- ・高田産業(株) (金沢市、建設)
開業後の需要増加を見据え、平成27年3月「金沢彩の庭ホテル」(64室)を開業。建設関連会社として異業種参入。
- ・(株)芝寿し (金沢市、弁当寿司製造・販売)
平成27年4月に金沢市内に新工場を建設。既存の工場を集約し増産に対応。本社も工場敷地内に移転する。
- ・(株)PFU (かほく市、スキャナ製造)
平成26年10月、東京本社との横浜移転に伴い業務を効率化。首都圏に勤務する開発人員約90人をかほく市に移管し、かほく市本社での開発体制を強化。
- ・(株)スギヨ (七尾市、水産加工品製造・販売)
平成25年2月、長野県に営業拠点を開設。長野市の企業と企画商品を開発するなど連携を強化。沿線北信越で市場開拓を進める。
- ・(株)加賀屋 (七尾市、温泉旅館)
平成25年2月、長野県に営業拠点を開設。長野市の企業と企画商品を開発するなど連携を強化。沿線北信越で市場開拓を進める。
- ・(株)加賀屋 (七尾市、菓子製造のグループ会社「(株)レグレット」)
2億円を投じて菓子製造のグループ会社「(株)レグレット」の新工場を建設。開業後の需要増加に対応するため、月生産量3割増産が可能となる。



(イメージ)

【福井県】

- ・(有)谷口屋 (坂井市、食品製造)
油揚げ製造販売。本社工場隣接地に新工場を建設。2億円を投じて最新の機械設備も導入。新幹線開業後の需要増加を見込む。
- ・(株)一乃松 (越前市、弁当寿司製造・販売)
金沢駅前に約50席の料亭を出店。首都圏の百貨店や東京駅で弁当や寿司を販売しており、開業で増加する首都圏観光客への知名度向上を図る。



(提供) (株)スギヨ

北陸3県の法人企業景気予測調査(「平成27年1-3月期」) (単位:%)

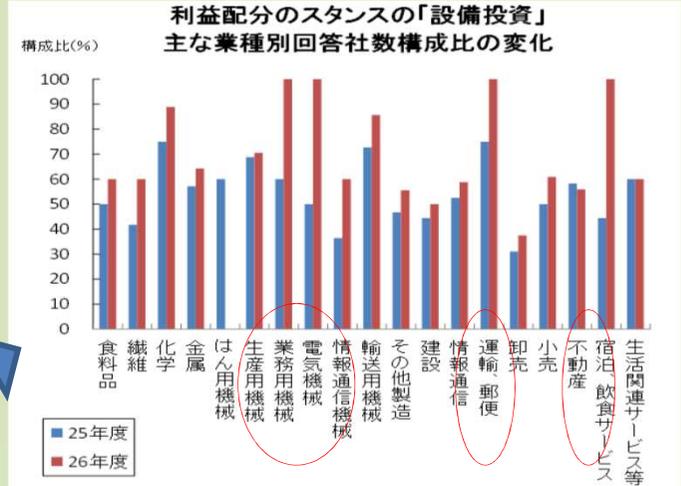
	設備投資 (除く電気・ガス・水道業)			
	25年度	26年度見込み		
		通期	上期	下期
全産業	▲1.8	19.2	18.2	20.0
製造業	▲10.1	32.2	24.8	37.2
非製造業	17.2	1.0	9.8	▲6.0

(注1) ソフトウェア投資額を含み、土地購入額は含まない
(注2) 25年度は26年1-3月期調査結果

北陸3県の法人企業景気予測調査(「平成27年1-3月期」) (単位:%)

利益配分のスタンス	設備投資	内部留保	従業員還元
全産業	① 59.9 ② 50.5	② 54.3 ① 60.6	③ 48.7 ③ 46.6
製造業	① 66.9 ① 58.0	② 50.8 ② 53.8	③ 44.6 ③ 48.3
非製造業	② 55.6 ② 46.0	① 56.5 ① 64.7	③ 51.2 ③ 45.5
大企業	① 60.2 ① 62.5	② 57.8 ① 62.5	④ 32.5 ④ 30.7
中堅企業	① 68.1 ② 57.0	② 59.7 ① 66.3	④ 37.5 ③ 38.4
中小企業	② 56.6 ③ 42.6	③ 50.5 ① 57.4	① 60.4 ② 56.9

(注1) それぞれ下段は25年度調査結果
(注2) 1社10項目中3項目以内回答で、全産業の回答社数構成比上位3位



【富山県】

- ・日工(株) (富山市、医薬品製造)
平成29年4月稼働予定で新工場を建設。投資額は約34億円。また、静岡工場にも約17億円を投資し、機械設備を導入するなど製造品目拡大に対応。
- ・(株)インテック (富山市、システム、ソフトウェア開発)
新幹線開業を見据え、平成25年4月に長野県に再進出。長野県内で大型案件を受注するなど、今後も新幹線沿線での需要拡大を見込む。
- ・(株)源 (富山市、弁当寿司製造・販売)
総投資額1億円を金沢市に富山県外では初となる新工場を建設予定。金沢駅での需要増加に対応する。
- ・(株)ビーライン (運転とやま鮭) (富山市、飲食サービス)
開業後に増加する観光客需要に対応するため、富山空港、富山駅前に回転寿司店を開業。新幹線効果を事業拡大につなげる。
- ・(株)能作 (高岡市、鋳物メーカー)
平成29年春をめどに、8億円を投じて高岡市に新工場を建設。国内外での販売増加を見据え、生産能力を拡大。
- ・エムアールテクノサービス(株) (高岡市、陸運)
貸切、乗合バス事業を手掛ける。石川県内初となる「金沢支店」を開業。新幹線利用者、石川県内空港からの観光、送迎需要を取り込む。



(提供) (株)源

主な地元企業の新たな事業展開② ～市場開拓、農林水産業、産業観光～

需要増加に対応する工場等の増産投資に加え、新幹線開業による**新たな市場開拓への取組み**や**農林水産業の展開**、**企業活動を地域の観光資源**として活かす「**産業観光**」の取組みが進む。

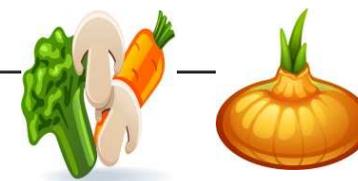
新たな市場開拓の展開



～新幹線開業を記念した大商談会に**過去最多の198社が参加**～

- 商工会議所等が連携して開催する企業商談会（「ビジネスドラフト」）。
- 新幹線開業を好機ととらえ、北陸3県のほか、長野、新潟、群馬、岐阜の4県の企業が参加。
- 北陸三県と長野県企業との商談が**前年比6倍**となるなど、沿線各企業の連携が拡大し、今後も新たな市場開拓につなげる。

農林水産業の展開



- 石川県が都内で開催する食品商談会（いしかわ百万石マルシェ）において、平成26年度の**県産食材の受注件数、受注金額が過去最高**。
- 富山県の平成26年度**首都圏向け県産野菜の出荷額は、前年度比約2倍（350ト）**となり、過去最高。新幹線開業を見据えたPRが奏功。
- 水産加工品製造・販売の株式会社スギヨ（石川県七尾市）は、野菜の栽培、加工も手掛けており、能登地域で新たに農地を借り入れ、規模を拡大。**生産から販売までつなげた「6次産業化」を加速**。

産業観光の展開

【石川県】

- ・株式会社芝寿し（金沢市、弁当寿司製造・販売）

平成27年4月完成の新工場敷地内に、平成28年10月完成予定で、体験ができる食のテーマパーク「ごはんの郷」も整備し、観光誘客につなげる。

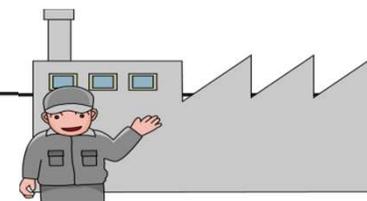
【富山県】

- ・株式会社能作（高岡市、鋳物メーカー）

建設する新工場の建設用地は、現在の4～5倍に拡大。一度に200人が見学可能となる産業観光施設を兼ねる。

～コンパクトシティに向けた取組みを活かす富山の産業観光～

- 富山県内の8商工会議所会頭らで組織する「県広域産業観光推進委員会」によると、産業観光の受け入れ候補企業が100社に達し、富山商工会議所では、公共交通機関沿線の産業観光施設を中心に紹介する産業観光のガイドブック等を発行。



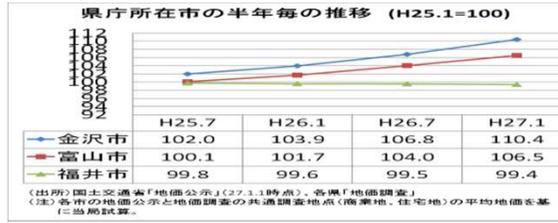
地価動向

～金沢駅周辺を中心に、新幹線開業を見据えた需要増を背景に地価上昇率が拡大～

	金沢市	富山市	福井市	地方圏	高松市	熊本市	鹿児島市	長野市	全国
商業地	1.3 ▲0.7	0.6 ▲0.6	▲1.0 ▲1.7	▲1.4 ▲2.1	▲1.7 ▲3.4	▲0.1 ▲0.7	▲1.3 ▲1.6	▲1.3 ▲2.4	0.0 ▲0.5
住宅地	0.0 ▲0.6	0.2 ▲0.3	▲1.4 ▲2.0	▲1.1 ▲1.5	▲1.5 ▲3.0	0.3 0.1	▲1.8 ▲1.9	▲1.2 ▲1.9	▲0.4 ▲0.6

(出所)国土交通省「地価公示」(H27.1.1時点)
(注1)各用途とも上段:H27.1、下段:H26.1
(注2)各都市等における標準地価格の変動率

金沢市の商業地は7年振りのプラス、住宅地は20年振りに下落から横ばい。
富山市の商業地は23年振り、住宅地は22年振りのプラス。



<金沢市>

～金沢駅兼六園口・金沢港口地区で地価が上昇～

- ・新幹線開業を見据えた需要増を背景に地価上昇率が拡大。香林坊・武蔵町は引き続き上昇し、片町は下落から上昇。
- ・金沢駅金沢港口(広岡1丁目)の商業地上昇率(+17.1%)は、**全国トップ**の上昇率。
- ・北信越5県の県庁所在地「新幹線駅前」の地価は、金沢駅前が最高。(2013年以降3年連続で首位:金沢、新潟、富山、長野、福井の順)。

《金沢駅兼六園口》

- ・金沢5-4(本町2丁目)
26年 625千円(+5.9%) 27年 680千円(+8.8%)

《金沢駅金沢港口》

- ・金沢5-13(広岡1丁目)
26年 293千円(+11.4%) 27年 343千円(+17.1%)

【駅周辺における民間の開発プロジェクト】

- 北陸鉄道株(金沢市)、大和ハウス工業株(金沢支社)
:平成27年4月複合商業ビル開業。

【片町A地区再開発プロジェクト】

- 旧ラプロ片町跡
:平成27年9月、1～3階の商業フロア営業開始予定。
中核テナントとして「H&M」入居予定。ビル名称は、公募により、「片町きらら」に決定。

【オフィスビルの収益環境の改善】

	25年12月末	26年12月末
「金沢市」		
空室率(%)	14.7	13.8
募集賃料(円/坪)	8,800	8,910

(出所):CBRE株



駅西口複合商業ビル
(27年4月開業)
(提供)北陸鉄道(株)



旧ラプロ跡地再開発ビル
(27年9月開業予定)
(提供)片町A地区市街地再開発組合

金沢市内は空室率が改善(低下)し、賃料は若干上昇傾向

<富山市>

【富山駅周辺の地価は上昇へ】

- ・駅周辺整備事業の進捗や再開発の活発化により、上昇地点が増加。
- ・駅周辺では、複合商業ビルと分譲マンションを計画。

《富山駅南口》

- ・富山5-15(桜町2丁目)
26年 395千円(+2.6%) 27年 426千円(+7.8%)

○株タカラレーベン(東京都)

- :平成29年富山市桜町1丁目地区に複合ビル(飲食店・専門学校・マンションなど)完成予定。

【西町総曲輪周辺では上昇地点も】

- ・複合商業ビルの建設計画など再開発事業が進捗。

《西町総曲輪》

- ・富山5-1(総曲輪3丁目)
26年 407千円(0.0%) 27年 407千円(0.0%)
- ・富山5-7(太田口通り1丁目)
26年 82.3千円(+3.1%) 27年 84.3千円(+2.4%)

○総曲輪西地区

- :平成28年5月、地上9階建て複合ビル(シネマコンプレックス・宿泊施設など)完成予定。

(提供)桜町一丁目4番地区市街地再開発組合



富山駅前再開発ビル(マンション、ホテルなど)
(29年秋頃完成予定)



(提供)総曲輪西地区市街地再開発組合
総曲輪西地区再開発ビル(ホテル、シネコンなど)
(28年5月頃完成予定)

<福井市>

【福井駅西口再開発事業が進展】

- ・北陸新幹線の敦賀延伸の着工・認可や駅西口再開発事業の進展等により、駅周辺4地点のうち2地点で横ばい。

《福井駅西口》

- ・福井5-1(大手2丁目)
26年 326千円(0.0%) 27年 326千円(0.0%)

○株アール・アイ・エー(東京都)

- :商業フロアや多目的ホール、自然史博物館分館(ドームシアター等)やマンション(約90戸)などが入る。愛称は「ハピリン」に決定。

(出所):各種報道等

(提供)福井市



駅西口再開発ビル(市プラネタリウムほか)
(28年3月完成予定)

課題 ～交流人口～

【管外からの
移住・定住促進の取組み】
※平成27年度新規事業

北陸三県の人口動態（社会増減）の減少幅は**縮小傾向**。「まち・ひと・しごと」の対策として、生活コストの低さ等を魅力に「誘客」から「移住・定住」促進に向けた次なるステップへ。

▶ 短期移住モデル事業

石川県は、社会人向けのIターンを支援。短期間、実際に働きながら住むことで、魅力を感じてもらい、移住・定住につなげる。

▶ とやまで就職！UIJターンプロジェクト

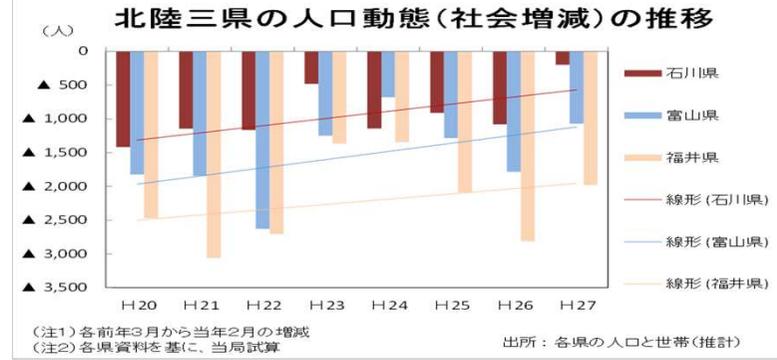
富山県は、県内企業による合同企業説明会を首都圏初開催。社会人を対象としたUIJターン講座も開催。

▶ ふるさと福井移住定住促進機構

福井県は、仕事や住まい、子育て等の相談から定着までワンストップで支援する「ふるさと福井移住定住促進機構」を設置し、移住者を支援。

北陸三県の転入-転出	▲4,363 人
うち東京圏	▲2,506 人
うち名古屋圏	▲ 873 人
うち大阪圏	▲1,147 人
うち地方圏	163 人

(出所)：各県
(注1)：平成26年10月から平成26年9月の移動者
(注2)：地域区分は以下のとおり
東京圏：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
名古屋圏：岐阜県、愛知県、三重県
大阪圏：京都府、大阪府、兵庫県、奈良県
地方圏：上記三圏、国外、不詳、北陸三県を除く
(注3)：各県資料を基に試算



課題 ～労働力の維持・確保～

「女性労働力」関連指標 (単位：%)

女性の有業率		女性の管理職比率	
生産年齢人口【女性】のうち有業者の割合		有業者【女性】のうち管理的職業従事者の割合	
1 北陸 70.4	1 近畿 0.84		
2 九州 65.5	2 四国 0.82		
3 東海 64.9	3 中国 0.79		
4 中国 64.8	4 関東 0.70		
5 東北 64.4	5 全国 0.69		
6 中国 63.9	6 福岡 0.69		
7 関東 63.3	7 九州 0.67		
8 全国 63.1	8 北海道 0.61		
8 福岡 62.8	9 沖縄 0.59		
9 沖縄 60.7	10 東海 0.52		
10 北海道 60.3	11 北陸 0.49		
11 近畿 59.6			

(出所)：総務省「平成24年就業構造基本調査」
(注)：出所資料を基に当局試算。

- 北陸管内の有効求人倍率は、全国を上回る高水準で推移。雇用情勢は着実に改善している。
- 一方で、企業側からは、新幹線開業に加え、大型商業施設の開業も控えていることから、人手不足感がさらに強まるとの声が聞かれる。
- 北陸の「労働生産性」は、製造業、サービス業等において低位。また、女性有業率が高く、女性が働きやすい地域であるものの、女性の管理職比率は低い。
- 業務工程の見直しや改善などによる「労働生産性の向上」とともに、「女性の登用・活用」や、「高校・大学新卒者の人材確保」に加え、管外からの「移住・定住」促進に取り組むなど「労働力の維持・確保」が課題。

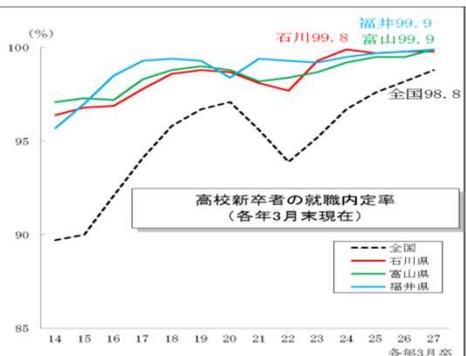
- ▶ グローバルニッチトップ企業や世界シェアトップクラスの企業が多数あるなど、観光のほか、北陸のものづくり力の集積を活かし、さらに炭素繊維・医療など**新たな産業・企業の創業・成長支援、本社機能移転への取組みなど、地方創生への取組みを加速化**。
- ▶ **サービス産業や6次化産業への波及**を通じて、産業基盤・地域基盤がより強固なものとなり、**持続的な経済の好循環**につながることを期待。

観光関連業への波及効果や企業進出による北陸地域全体の活性化に期待する一方、人手不足、能登地域や金沢以西・福井への地域的波及、ものづくりなどの観光業以外への波及、2年目以降の反動減対策・リピーターの確保策、空港施設との共存、誘客から移住・定住への取組みなどの課題にも注視。

(主な視点)

企業や商業施設の動向(生産量、販売額など)、産業構造の変化、観光の動向と地域的波及や過不足、雇用・所得、労働生産性、人口動態、自治体財政の変化、地価動向 など

(資料) 厚生労働省



(参考)

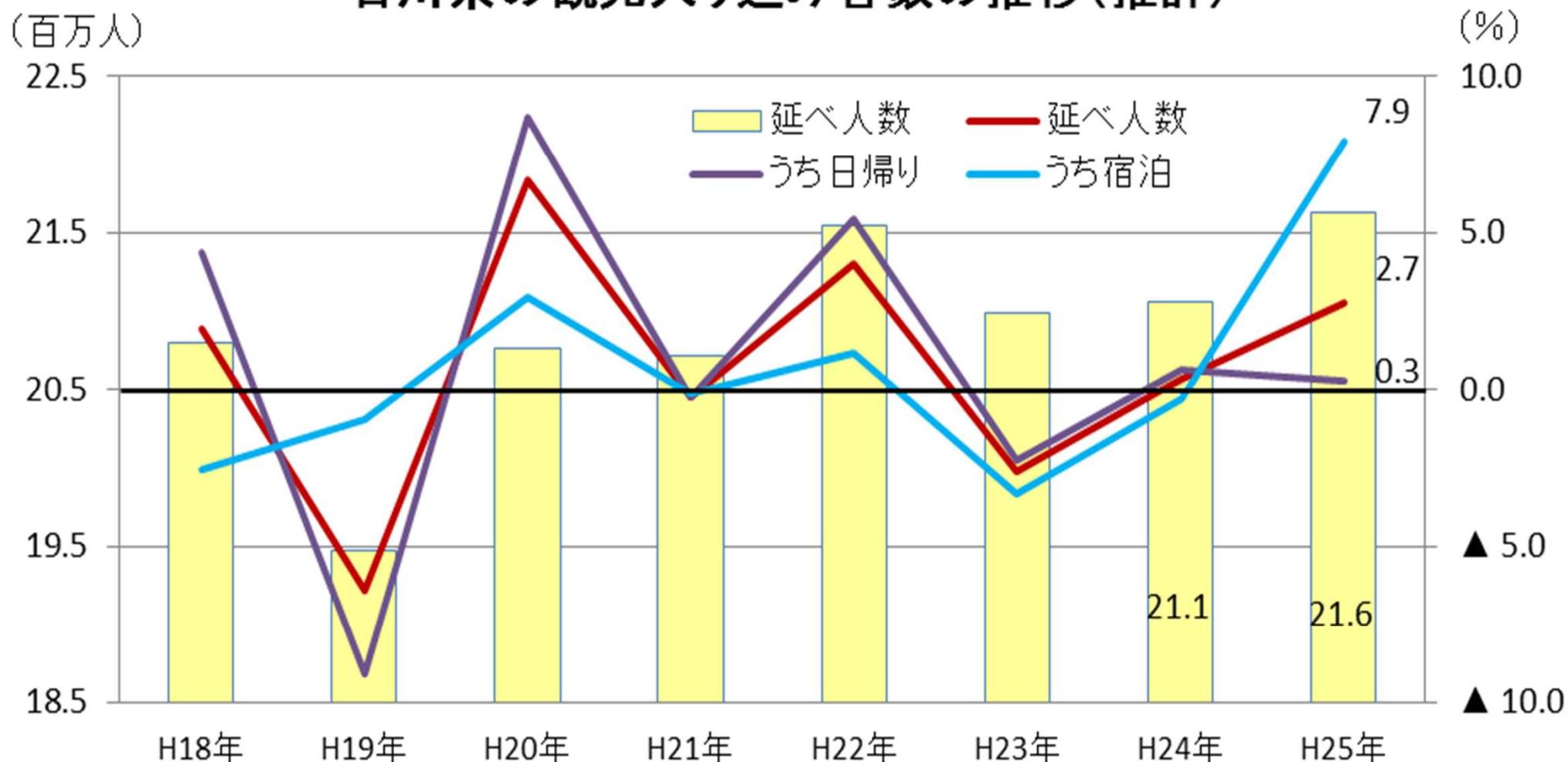
「北陸産業競争力強化戦略」

炭素繊維や医療機器などの研究開発を加速し、**地域再生につなげる「地域再生計画」**として、北陸三県が共同申請し、政府が認定。

参 考 资 料

入り込み客数（全体）

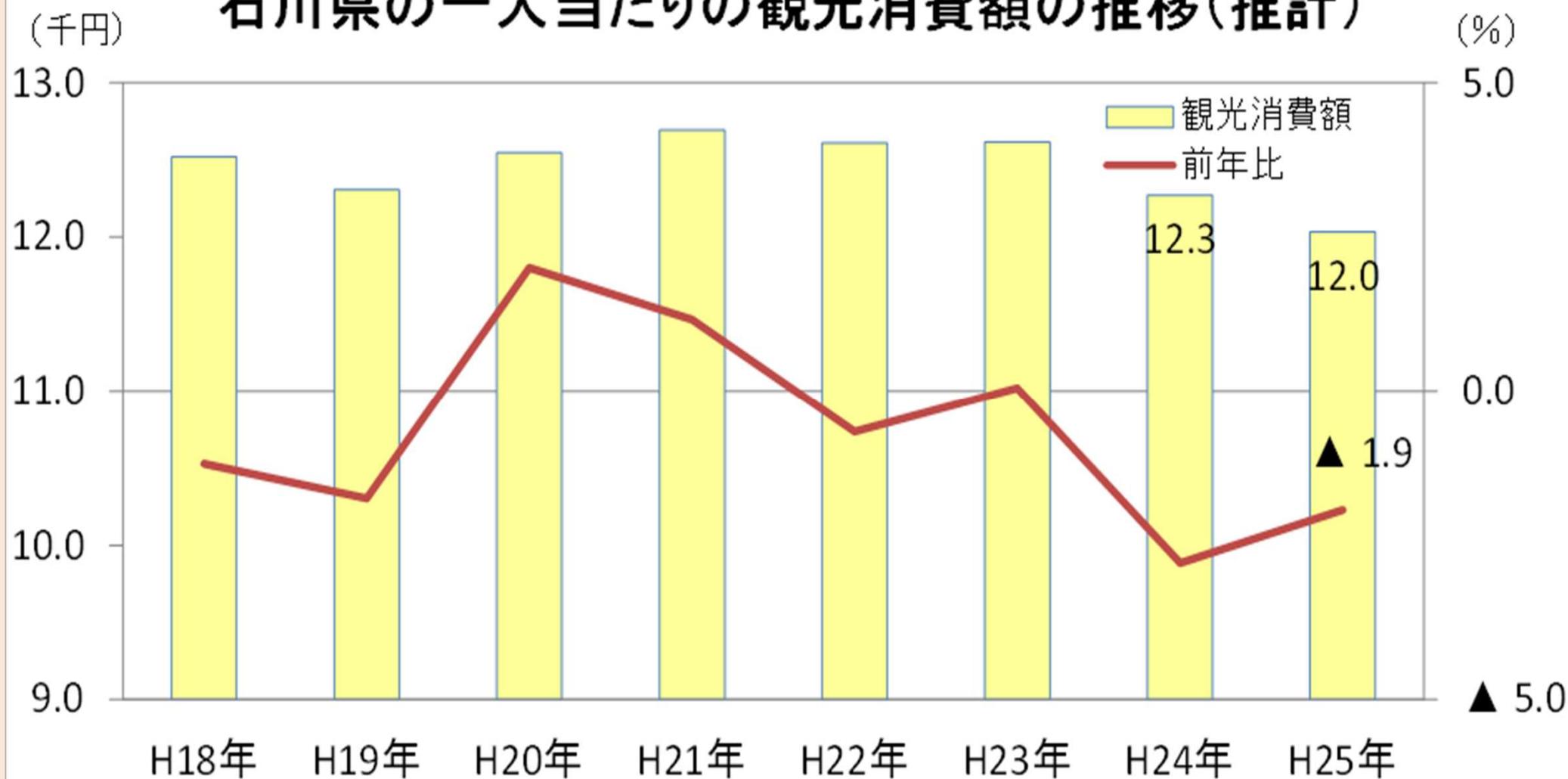
石川県の観光入り込み客数の推移(推計)



(出所: 統計からみた石川県の観光)

観光消費額

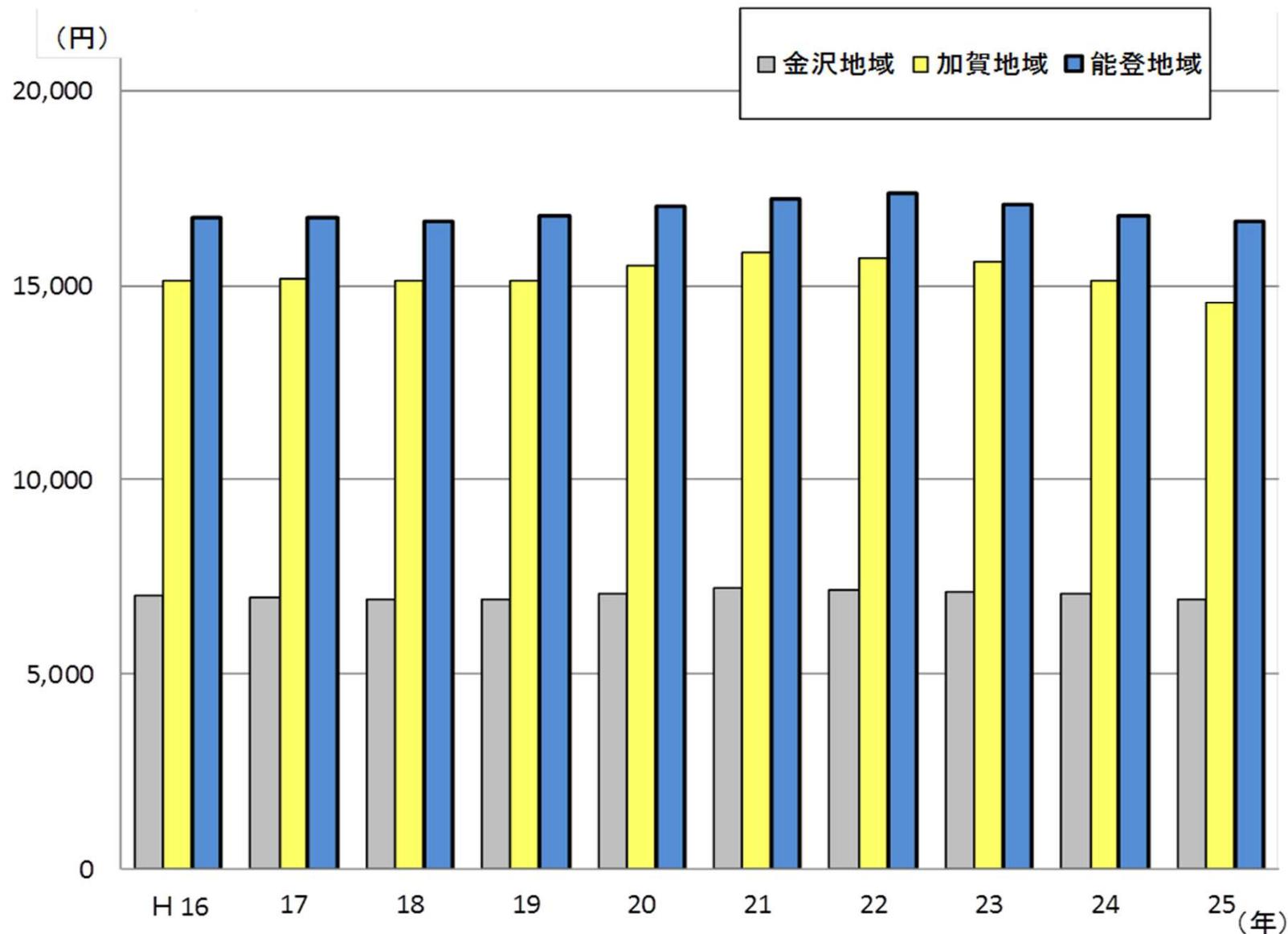
石川県の一人当たりの観光消費額の推移(推計)



(出所:統計からみた石川県の観光)

観光消費額(一人当たり)

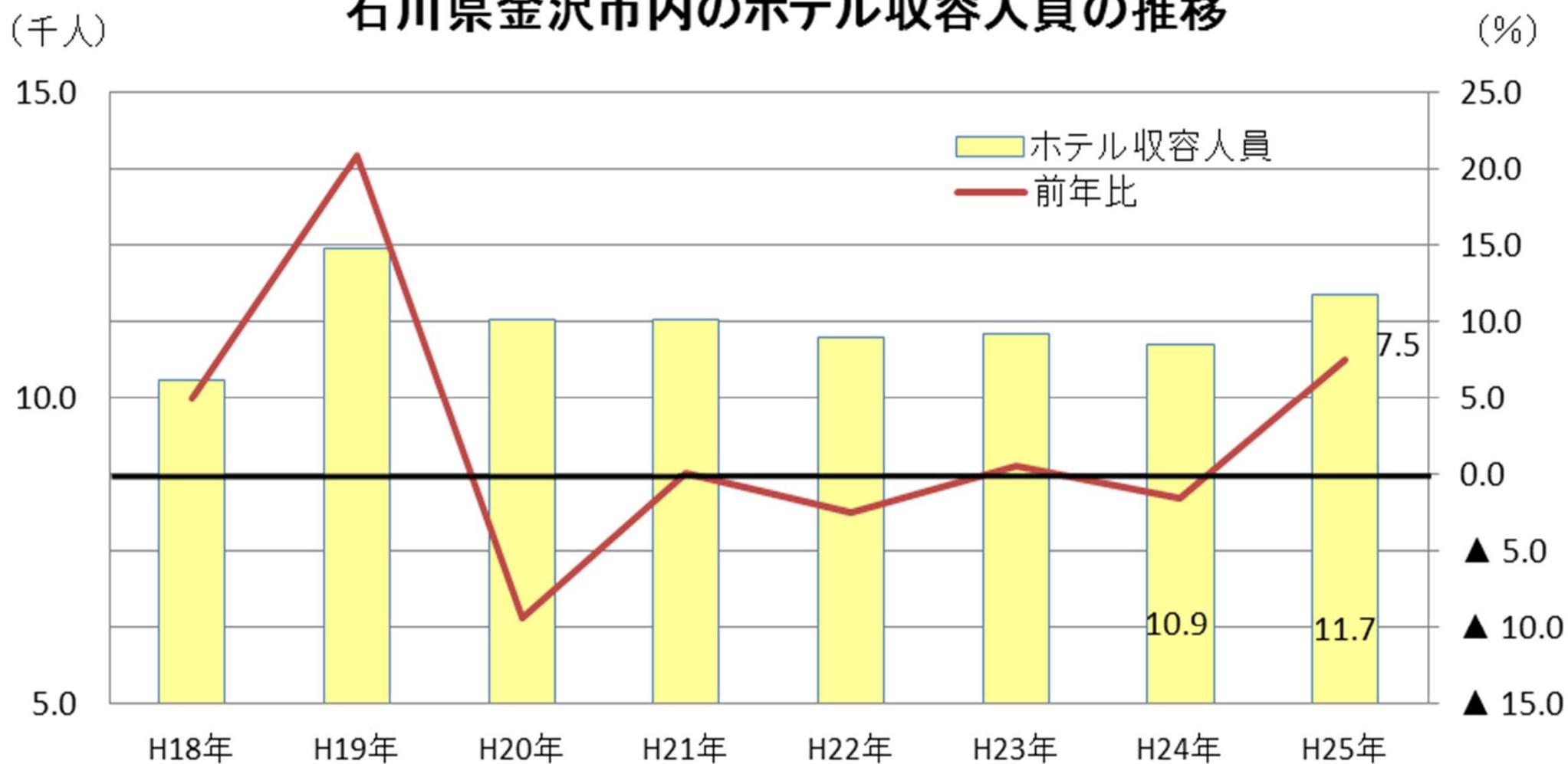
■ 観光消費額は、“能登地域”が県内最大！



(出所) 石川県「統計からみた石川県の観光」

ホテル収容人員

石川県金沢市内のホテル収容人員の推移



(出所: 統計からみた石川県の観光)

誘客は、今が大事、そして、その後も！

— 各新幹線の開業年の前後は、入込客数が伸びない傾向がある —

平均をみると、開業2年前が▲5.2ポイント(以下「P」、開業1年前が▲3.3P、開業1年後が▲1.3Pと、開業前後で入込客数は減少

観光客入込客数の推移

(単位：入込客数は万人)

区 分		開業 3年前	開業 2年前	開業 1年前	開業年	開業 1年後	開業 2年後	開業 3年目以降 (平均)	備 考
岩手県	(指数)	(90.1)	(83.9)	(90.9)	(100.0)	(102.6)	(112.3)	(145.2)	大宮—盛岡開業：昭和57年6月
	S57.6開業 入込客数	2,334	2,173	2,354	2,591	2,659	2,909	3,761	
山形県	(指数)	(93.2)	(97.6)	(95.1)	(100.0)	(96.1)	(100.1)	(96.5)	
	H4.7開業 入込客数	3,804	3,981	3,880	4,080	3,922	4,086	3,936	
秋田県	(指数)	(101.9)	(97.7)	(97.5)	(100.0)	(99.9)	(102.7)	(107.3)	
	H9.3開業 入込客数	4,241	4,063	4,056	4,160	4,160	4,271	4,463	
長野県	(指数)	(99.0)	(94.8)	(96.3)	(100.0)	(95.2)	(90.9)	(86.1)	
	H9.10開業 入込客数	10,432	9,990	10,142	10,533	10,028	9,571	9,074	
青森県	(指数)	(87.2)	(87.7)	(91.6)	(100.0)	(97.8)	(97.6)	(98.5)	東京—八戸開業：平成14年12月
	H14.12部分開業 入込客数	4,213	4,238	4,425	4,831	4,724	4,717	4,758	
青森県	(指数)	-	-	(108.5)	(100.0)	(104.5)	(105.2)	-	八戸—青森開業：平成22年12月
	H22.12開業 入込客数	-	-	3,421	3,154	3,296	3,317	-	
熊本県	(指数)	(99.9)	(101.7)	(98.4)	(100.0)	(101.8)	(105.2)	-	
	H23.3開業 入込客数	5,812	5,914	5,724	5,817	5,920	6,119	-	
平均	(指数)	(96.3)	(94.8)	(96.7)	(100.0)	(98.7)	(99.5)	(99.2)	

注1：上段()書きは、それぞれの新幹線の開業年を100とした場合の指数である。

注2：青森県の平成22年12月開業分については、県が平成22年から独自調査を観光庁調査に変更したため、「開業年」と「開業2年前」以前との比較ができない。

出所：岩手県「岩手県観光統計概要」、山形県「山形県観光者数調査」、秋田県「秋田県観光統計」、長野県「観光地利用者統計調査結果」、
青森県「青森県観光入込客統計調査結果」、熊本県「熊本県観光統計表」